

著作権の制限

会いたい with INSPi

歌:沢田知可子 作詞:沢ちひろ 作曲:財津和夫

12回再掲「安定したい」2014年

ビルが見える教室で二人は机並べて
同じ月日を過ごした
少しの英語とバスケット

そして私はあなたと 恋を覚えた
卒業しても私を子供扱いしたよね
遠くへ行くなよと
半分笑って半分真顔で抱き寄せた

低い雲広げた冬の夜
あなた夢のように死んでしまったの
今年も海へ行くつて
いっぱい映画も観るつて
約束したじゃない
あなた約束したじゃない
会いたい...

曲が売れた収入で 目黒のマンション手
に入れ すぐにバブルがはじけた
当時の買い値は 7000万

そして売り値は2000万 殺意覚えた
契約決まり売却業者をお願いしたよね
「振り込みしてよね」と
半分払って 半分持ち逃げ騙された

ヒット一曲あっても庶民的
印税まるでないと 知ってしまったの
カラオケ みんなが歌って
いっぱい お金 入るつて
全くウソじゃない
歌手は一銭ももらえない
泣きたい

「替え歌」は違法なのか？

「会いたい」の沢田知可子と作詞家が裁判沙汰

2014/12/9 19:05

90年代のヒット曲「会いたい」の歌詞をめぐる、作詞家の沢ちひろさんから**著作権者人格権**を侵害したと提訴され、慰謝料を請求された歌手の沢田知可子さんが、2014年12月8日、ブログに「訴状が届いていないので正確なお答えが出来ませんが、報道を観て大変ショックを受けております」と書いた。沢さんが提訴に踏みきったきっかけは、沢田さんがバラエティー番組で「会いたい」を「安定したい」と替え歌にしたことだという。はたして**替え歌に違法性**はあるのだろうか

顛末：口頭弁論前日に訴訟取下げ

<http://www.j-cast.com/2014/12/09222829.html>

2

30年度【知的財産法】杉山 務

著作権の制限

定められた条件のもとで、著作権者の許諾を受けることなく無断で利用できる場合があり、利用にあたっては、原則として出所の明示が必要となる

- (1) 私的使用のための複製(30条)
- (2) 図書館等における複製(31条)
- (3) 引用(32条)
- (4) 教科用図書等への掲載(33条)
教科用拡大図書等の作成のための複製(33条の2)
- (5) 学校その他の教育機関における複製(35条)
遠隔授業教材の送信
- (6) 試験問題としての複製(36条)
インターネットによる試験問題の送信
- (7) 点字による複製等(37条)
聴覚障害者のための自動公衆送信(38条)
- (8) 営利を目的としない上演等(38条)

これらの規定は、
著作権者人格権に
影響を及ぼすもの
ではない。(50条)

3

30年度【知的財産法】杉山 務

著作権の制限

- (9) 時事問題に関する論説の転載等(39条)
政治上の演説等の利用(40条),
時事の事件の報道のための利用(41条)
- (10) 裁判手続等における複製(42条)
- (11) 情報公開法 等による開示のための利用(42条の2)
- (12) 翻訳, 翻案等による利用(43条)
- (13) 放送事業者等による一時的固定(44条)
- (14) **美術の著作物**等の原作品の所有者による展示(45条),
公開の美術の著作物等の利用(46条),
美術の著作物等の展示に伴う複製(47条)
- (15) プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等(47条の2)
- (16) その他, 写り込み等の利用(24年改正)

4

30年度【知的財産法】杉山 務

4 教育関係における利用

(33条)

「検定教科書」等への掲載

公表されている著作物であること
学校教育の目的上**必要**な限度内であること
掲載したことを著作者に**通知**すること
文化庁長官が定める「**補償金**」を著作権者に支払うこと
「**出所**の明示」が必要

「拡大教科書」作成のためのコピー(弱視の児童・生徒用)

教科書に**掲載**された著作物であること
教科書の全部又は相当部分の複製は, 教科書発行者に**通知**すること
営利目的の場合は, **補償金**を著作権者に支払うこと

5

30年度【知的財産法】杉山 務

5 教育機関における複製 (35条)

「複写・配布」

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは**出所の明示**が必要

学校などで**教員**や**学習者**が**教材作成**などを行うために**コピー・配布**する場合
インターネット上のデータをプリントアウトして配布する場合も含む

営利を目的としない**教育機関**であること
授業を担当する**教員**等やその授業等を受ける学習者自身がコピーすること
授業の中でコピーする**本人**が使用すること
必要な限度内の**部数**であること
公表されている著作物であること
著作物の種類や用途などからみて、著作権者の利益を**不当**に害しないこと（学習者が購入することを前提とした著作物、例、ドリル、ソフトウェア）

6

30年度【知的財産法】杉山 務

教育機関における公衆送信 (35条)

「公衆送信」

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは**出所の明示**が必要

学校などで、「**主会場**」での授業が「**副会場**」に同時中継（公衆送信）されている場合に、**主会場**で用いられている教材を**副会場**向けに**送信**する場合

営利を目的としない**教育機関**であること
「**主会場**」と「**副会場**」がある授業**形態**であること
その教育機関で「授業を受ける者」**のみ**への送信であること
生中継される授業を受信地点で「**同時**」に受ける者への送信であること
主会場での**教材**として、配布、提示、上演、演奏、上映、口述されている著作物であること
著作物の種類や用途などからみて、著作権者の利益を**不当**に害しないこと

※ 放送大学は、上記条件を満たさない

7

30年度【知的財産法】杉山 務

教育関係における利用

「学校教育番組」作成のためのコピー

公表された著作物であること
学習指導要領に準拠した番組であること
学校教育の目的上、必要限度内であること
放送したことを著作者に通知すること
補償金を著作権者に支払うこと

「試験問題」作成のためのコピー・公衆送信 (36条)

東高120911「小学校用国語副教材」事件

小学校の国語の副教材テストに「作品を無断で使われ、著作権を侵害された」として、詩人の谷川俊太郎ら作家9人が教材会社6社に出版差し止めを求めた仮処分で、高裁は、申し立てを却下した東京地裁の決定を変更し、出版差し止めを命じる決定をした

8

30年度【知的財産法】杉山 務

福祉関係における利用

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは出所の明示が必要

「点訳」のためのコピー 点字に訳してコピー
「点訳」データの蓄積・送信
「録音図書」等の製作
「字幕」の自動公衆送信 リアルタイム字幕の送信

報道関係における利用

「時事」の事件」の報道する場合
「行政機関での公開演説」等の報道のための利用
「情報公開法」に基づく「開示」等のための利用

「立法」「司法」「行政」のための内部利用

9

30年度【知的財産法】杉山 務

非営利・無料の場合における利用

(38条)

「上演;演奏;口述;貸与」

学校の学芸会, 市民グループの発表会, 公民館での上映会

営利を目的とせず, 聴衆・観衆から**料金等**を受けず, 出演者等に**報酬**が支払われないこと

「本などの貸与」

図書館における本の貸し出し

営利を目的とせず, 貸与を受ける者から**料金**を受けないこと

「ビデオなどの貸与」

ビデオライブラリーなどにおけるビデオなどの貸し出し

営利を目的とせず, 貸与を受ける者から**料金**を受けないこと
権利者に**補償金**を支払うこと

10

30年度【知的財産法】杉山 務

非営利・無料の場合における利用

(38条)

「放送番組等の伝達」

喫茶店に置いてあるテレビなどで放送を「公に伝達」する場合

営利を目的とせず, 聴衆・観衆から**料金**を受けないこと
通常の**家庭用**受信機を用いること

「放送番組の有線放送」

「共用アンテナからマンション内への配信」など, 放送を受信して直ちに有線放送する場合

営利を目的とせず, 聴衆・観衆から**料金**を受けないこと

11

30年度【知的財産法】杉山 務

参考：条文の読み方

「放送番組等の伝達」

喫茶店に置いてあるテレビなどで放送を「公に伝達」する場合

営利を目的とせず、聴衆・観衆から**料金**を受けないこと
通常の**家庭用**受信機を用いること

(営利を目的としない上演等)

第三十八条 公表された著作物は、営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金(いずれの名義を**もつて**するかを問わず、著作物の提供又は提示につき受ける対価をいう。以下この条において同じ。)を受けない場合には、公に上演し、演奏し、上映し、又は口述することができる。ただし、当該上演、演奏、上映又は口述について実演家又は口述を行う者に対し報酬が支払われる場合は、この限りでない。

3 放送され、又は有線放送される著作物(放送される著作物が自動公衆送信される場合の当該著作物を含む。)は、**営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金を受けない場合には、**受信装置を用いて公に伝達することができる。**通常**の**家庭用**受信装置を用いてする場合も、同様とする。

参考: 刑法176条 十三歳以上の男女に対し、暴行又は脅迫を用いてわいせつな行為をした者は、六月以上十年以下の懲役に処する。十三歳未満の男女に対し、わいせつな行為をした者も、同様とする。

12

30年度【知的財産法】杉山 務

美術品：写真：建築における利用

(45～47条)

「美術品」「写真」の原作品の所有者による展示

美術の著作物のオリジナルを、街路・公園等や、ビルの外壁など一般公衆の見易い屋外の場所に恒常的に設置する場合でないこと

屋外設置の「美術品」「建築物」の利用

同じものをコピーして増製ないこと

「美術展の小冊子の製作」

展示のときに、解説・紹介のための小冊子へのコピー

オリジナルを**展示**する者がコピーすること
展示が**展示権**の侵害とならないこと

13

30年度【知的財産法】杉山 務

コンピュータプログラムの利用 (47条の2)

「プログラム所有者」によるコピー

バックアップやプログラムの修正・改良の場合

所有者がプログラムを利用するために必要な限度内
海賊版と知って入手したものでないこと

リバースエンジニアリング(RE)はどうなりますか？

技術の発展にはREは不可欠であり、特許権侵害にはならない

REには、複製が当然に行われる

また、ネット上のデータを視聴する際には、パソコンのメモリ又はHDに複製される

14

30年度【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(1) 付随対象著作物の利用 (30条の2)

- ① 写真を撮影したところ、本来意図した撮影対象だけでなく、**背景に小さく**ポスターや絵画が写り込む場合
- ② 街角の風景をビデオ収録したところ、本来意図した収録対象だけでなく、ポスター、絵画や**街中で流れていた音楽**がたまたま録込まれる場合
- ③ 絵画が背景に小さく写り込んだ写真を、**ブログ**に掲載する場合
- ④ ポスター、絵画や街中で流れていた音楽がたまたま録込まれた映像を、放送やインターネット**送信**する場合

15

30年度【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(2) 検討の過程における利用(30条の3)

- ① 漫画のキャラクターの商品化を企画するに際し、著作権者から許諾を得る以前に、社内の会議資料や企画書等にキャラクターを掲載する場合
- ② 映像にBGMを入れるに際し、著作権者から許諾を得る以前に、どの楽曲を用いるかを検討するために、実際に映像にあわせて楽曲を録音する場合
- ③ 権利者不明の著作物に関し、裁定制度を利用するか否かを検討するに際し、社内の会議資料や企画書等に著作物を掲載する場合

16

30年度【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(3) 技術の開発又は実用化のための試験の用に供するための利用(30条の4)

- テレビ番組の録画に関する技術を開発する場合に、技術を検証するため、実際にテレビ番組を録画してみる場合
- 3D(三次元)映像の上映に関する技術を開発する場合に、技術を検証するため、3D映像が収録されたBlu-ray Discを上映してみる場合

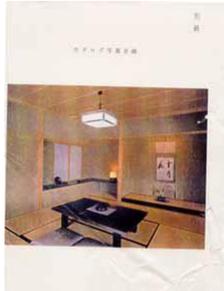
(4) 情報通信技術を利用した情報提供の準備に必要な情報処理のための利用(47条の9)

- 様々なファイル形式でサーバーにアップロードされているファイルを、統一化したファイル形式にするために必要な複製が行われる場合
- 各種インターネットサービスにおいて、分散処理による情報処理の高速化のため、サーバー上で必要な複製が行われる場合

著作物の利用のみならず、実演、レコード、放送又は有線放送の利用についても同様に、著作隣接権者の許諾を得なくても利用することが侵害行為に当たらない。(102条1項)

17

30年度【知的財産法】杉山 務



東京地判平成11.10.27[雪月花] 東京高判平成14.2.18
照明器具のカタログに、室内に掲げられた掛け軸に記された書の著作物が
写り込んでしまったという事件

美術の著作物としての書の複製に当たるといえるためには、単に字体や
書体が再現されているにとどまらず、**文字の形の獨創性、線の美しさと微
妙さ、文字群と余白の構成美、運筆の緩急と抑揚、墨色の冴えと変化、筆
の勢い**といった上記の美的要素を直接感得することができる程度に再現が
されていることを要するものというべきである。

ま と め

ご清聴 ありがとうございました。

18回(23日:金)は、著作隣接権と罰則

著作権の制限(30～50条)

著作権者の許諾を受けることなく利用できる場合

なお、利用にあたっては、原則として出所の明示が必要となる（48条）

これらの規定は、著作人格権については制限されず、目的外使用も侵害となる。

- 1 私的使用のための複製(30条)：テレビ番組の録画、音楽CDの携帯機器へのコピー
 - ・家庭内などの限られた範囲内で仕事以外の目的に利用すること
 - ・使用する本人がコピーすること
 - ・誰でも使える状態で設置してあるダビング機などを用いないこと
 - ☆当分の間は、コンビニのコピー機など「文献複写」のみに用いるものは除く
 - ・コピープロテクション（コピーガード）を解除してコピーするものでないこと¹
 - 解除されていることを知りつつコピーするものでないこと
 - 2 図書館等における複製(31条)
 - ・図書館等が所蔵している資料を用いて利用者の調査研究の目的のために、公表された著作物の一部分を一人につき1部提供するための複製であること
 - 3 引用(32条)
 - ・公表されている著作物で研究など引用する必然性があり、引用部分が明確に区別され、主従関係が明確であること
 - ★美術鑑定証書事件 知財高裁 H221013
 - 4 教科用図書等への掲載(33条)：教科用拡大図書等の作成のための複製(33条の2)
 - 5 学校その他の教育機関における複製(35条)：遠隔授業教材の送信
 - 営利を目的としない教育機関で教員や学習者自身が、公表されている著作物を必要な限度内の部数コピーし、授業の中で使用すること
 - 6 試験問題としての複製(36条)：インターネットによる試験問題の送信
 - 7 点字による複製等(37条)：聴覚障害者のための自動公衆送信
 - 8 営利を目的としない上演等(38条)
 - 営利を目的とせず、聴衆・観衆から料金等を受けず、出演者等に報酬が支払われないこと
 - 放送され、又は有線放送される著作物（放送される著作物が自動公衆送信される場合の当該著作物を含む。）は、営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金を受けない場合には、受信装置を用いて公に伝達することができる。通常¹の家庭用受信装置を用いてする場合も、同様とする。
 - 9 時事問題に関する論説の転載等(39条)：政治上の演説等の利用(40条)
 - 時事の事件の報道のための利用(41条)
 - 10 裁判手続等における複製(42条)
 - 11 情報公開法 等による開示のための利用(42条の2)
 - 12 翻訳、翻案等による利用(43条)
 - 13 放送事業者等による一時的固定(44条)
 - 14 美術の著作物等の原作品の所有者による展示(45条)
 - 公開の美術の著作物等の利用(46条)
 - 美術の著作物等の展示に伴う複製(47条)
 - 15 プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等(47条の2)
 - 16 付随対象著作物の利用（30条の2）；写り込み、録込み
 - 17 検討の過程における利用（30条の3）；著作権者から許諾を得る前の検討
 - 18 技術の開発又は実用化のための試験の用に供するための利用（30条の4）
 - 19 情報通信技術を利用した情報提供の準備に必要な情報処理のための利用（47条の9）
 - 著作物の利用のみならず、実演、レコード、放送又は有線放送の利用についても同様に、著作隣接権者の許諾を得なくても利用することが侵害行為に当たらない。（102条1項）
- ※ フェアユース：一般的な制限規定に係る「フェアユース」は検討保留

¹ 附 則 （施行期日）

第一条 この法律は、昭和四十六年一月一日から施行する。

（自動複製機器についての経過措置）

第五条の二 著作権法第三十条第一項第一号及び第一百九条第二項第二号の規定の適用については、当分の間、これらの規定に規定する自動複製機器には、専ら文書又は図画の複製に供するものを含まないものとする。

正 (○), 誤 (×) どちら。その理由は。

- Q1：他人の著作物を引用して利用する場合、引用されていることが明らかであれば、引用箇所を明確に区別する必要はない。
- Q2：非営利を目的とする場合であれば、公表されていない他人の著作物を引用して利用することができる。
- Q3：教育機関において授業の中で使用する目的で書籍を複製する場合には、著作権者の承諾が必要な場合はない。
- Q4：美術の著作物の原作品の所有者は、著作権者の許諾を得ることなくその著作物の原作品を公に展示することができない。
- Q5：著作権者の許諾を得ることなくインターネット上で配信されている、いわゆる海賊版であっても私的使用を目的とする場合であれば、海賊版であると知りながらダウンロードして録画をすることができる。
- Q6：絵画を購入して自分のものとした場合、その絵画を複製して販売することが自由にできる。
- Q7：ある小説を脚本にし、それを元に私が映画を制作した場合、映画の著作権は私にあるので映画の利用は自由にできる。
- Q8：美術作品を原作者から購入した者は、原作者の了解を得なくても、自分の一存で、その美術作品の譲渡や貸与、焼却処分などを自由にできる。
- Q9：会社が、勤務規則で社員の職務上作成した著作物はすべて会社に帰属する、と規定していれば、社員の作成した職務著作物は、会社が改変を含め自由に利用できる。
- Q10：会社内部の会議資料や執務の参考資料として、学術雑誌や経済・経営雑誌、専門新聞、一般新聞などの記事等を複製して配ることは、たとえ少数でも著作権の侵害になる。
- Q11：ある人気漫画のキャラクター図を参考に作った別のキャラクター図をパンフレットに使う場合、図柄が少し違っていれば著作権の侵害とならない。
- Q12：喫茶店のCDプレーヤーでCDの曲を店内のお客さんに、著作権者に無断で聞かせることは、著作権侵害になる。
- Q13：喫茶店のTVでサッカーの放送番組を店内のお客に見せるのは、本当は著作権侵害である。
- Q14：美術館で「写真撮影禁止」の張り紙があった場合、これに従わないと著作権侵害になる。
- Q15：商店街に設置されている彫刻が写り込んだ町の写真を自分のホームページに掲載するには、その彫刻の著作権者の了解が必要である。
- Q16：非営利、無料かつ無報酬であれば、著作物を自由に演奏や上映などができるという規定が著作権法にあるが、この規定は、著作物をインターネットで送信する場合にも適用される。
- Q17：マンガ喫茶を経営する場合、マンガの著作権者の了解が必要である。
- Q18：未公表絵画の著作権譲渡を絵画と共に譲り受けたので、出版予定の書籍に掲載したいが、改めて、公表について著作者の同意を得る必要がある。
- Q19：ゲームソフトの中古販売には、著作権者の許諾が必要である。
- Q20：芸能人のモノマネをテレビでやる場合、その芸能人の了解を得ていないと著作権侵害となる。
- Q21：会社の執務資料とするために、市販の法令集（出版物又はCD-ROM）から関係法令のみを抜粋し、資料集を作成する場合、著作権の侵害とはならない。
- Q22：地域のバザーが開催されることになり、その案内ポスターに人気キャラクターを載せる場合、手書きであれば著作権の問題は起こらない。
- Q23：「禁転載」や「転載を禁ず」といった表示がある著作物を引用すると、著作権侵害に当たる。